

レインボータウンFM72

伊藤広規 「旅と人と音楽と」

(第 72回 2019.3.13 OA)

【第72回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。
レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」
今夜は第72回目！それでは行ってみましょう！

【新】【説明1】

この番組は、周波数88.5メガヘルツ「レインボータウン FM」から 江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。

サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】

今夜は久々にフランクザッパ関連！ ミッシングパーソンズ(Missing Persons)
1982年 アルバム 「Spring Session M」 から Noticeable One (ノーリスボル ワン)

【曲途中】

このバンドはPopなROCKバンド。テクニックも凄いです。
それもそのはずで、メンバー5人のうち3人がフランクザッパのバンドメンバー、DrumsのTerry Bozzio (テリー・ボジオ)、GuitarのWarren Cuccurullo (ウォーレン・クックルロ)、BassのPatrick O'Hearn (パトリック・オハーン)。ボーカルのティル ボジオは、元プレイメイト。ド派手な出で立ちで、Live 頑張ってます。
このBandはずっと気になって、元ドラマーで、ユニコーンのプロデューサーのマイケル河合が知ってて、聞いたら良いというので、レコード買って、聞きましたが、最初はテクノっぽくて、どうかなあ〜?と思ったんですが、これが「スルメ」だったんですね。何度か聞いているうちに、好きになってしまって、音質もイマイチとってたのが実は、凄く音が良かったんです！そんな事って、あるんですね。
アルバムの中にはテリーボジオの面白いドラムもあるので、教育の一環として結構、青山純にも聞かせてました。(笑)
Missing Personsはスルメのようですので、是非アルバムを買って何度も聞いてみましょうー！

【1 曲目が終わり 2 曲目】

2曲目は(Missing Persons)同じアルバム から(1982年 「Spring Session M」)Words

【2 曲目途中】

ミッシングパーソンズはパフォーマンスもいいんです。1983年の「US FESTIVAL」という70万人野外コンサートがあって、その模様をテレビでやってて、この曲を観れたんです。音源で聴いてはいても、パフォーマンスをみると、演奏上手いしカッコいい。
この野外フェスはウッドストックより巨大なフェスで、さらにミッシングパーソンズファンになってしまいました。この映像はDVDでも販売している様なので、ぜひ見てみてください。私は野外ライブは好きなんです。

【2 曲目が終わり 3 曲目】

ミッシングパーソンズの中でもダントツに好きな曲です。
(Missing Persons) 1984年 アルバム 「Rhyme & Reason」 (ライム アン リーズン) Surrender Your Heart

【曲途中】

ギターウォーレンクックルロは、この後にデュランデュランをプロデュースしてます。この曲の世界観が出てましたね。バカテクの集団だけではありませんが、彼らはアレンジの良さも魅力ですね。
この曲を聴くと、軽井沢までの高速がなかった頃の帰り道を佐久から八ヶ岳、清里を通ってのんびり帰ってきた時のことを思い出します。屋間なら必ず清泉寮に寄って高原で富士山を見ながらソフトクリームを食べる。空の色とか風とかこの曲にぴったりなんですね。ここのソフトクリームは凄く美味くて一つでは足りなくて2つ食べてましたけど、先日清泉寮に行った時には「2つはもう食べられない」
時の流れを感じました。富士山は変わらず綺麗でした。

《曲終わり》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。
URL は Kokiradio.net (コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオー
ドットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、プレゼント。

広規チャリティバンドナと

広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。

今月もドシドシメッセージお送りください。

では、来週も水曜日

この時間に！

《間》

伊藤広規でした。